

普及活動情勢報告（令和7年3月分）

中央西農業振興センター 高知農業改良普及所

ハウス内環境を見てみませんか？ ～J A高知市三里園芸部野菜部会研修会～



勉強会の様子

2月15日、J A高知市三里園芸部野菜部会がJ A高知市三里園芸出荷場で研修会を開催し、生産者9名が参加しました。

普及所は、ハウス内環境データを基に改善した温度やかん水管理事例と産地で問題となっている病害対策について説明しました。

参加者からは「かん水量を見直したことで、葉先焼けが収まった」「防除方法を詳しく聞きたい」といった声がありました。

普及所は、今後もJ Aと連携し、産地の生産力向上に向けて取り組んでいきます。

令和6年度の活動成果を報告 ～第2回高知地区農業改良普及推進協議会～



チーム長から報告

2月26日、高知農業改良普及所で第2回普及推進協議会を開催し、農家委員及び関係機関、普及所職員など27名が出席しました。

普及所から、令和6年度の普及活動進捗状況と令和7年度の普及計画素案の概要などを説明後、出席者との意見交換をしました。

農家委員からは、新規就農者の確保に関して「孫世代も視野に入れてはどうか」「目標所得、経営面積を数値で示す必要がある」「具体的に行動することが大事」など、具体的な意見が出されました。

普及所は、今回の意見を次年度の普及計画に反映させるとともに、関係機関や部会などにも共有し課題解決に取り組んでいきます。

ミョウガの栽培技術向上に向けて ～高知市ハウスミョウガ合同現地検討会～



現地検討会の様子

3月7日、J A高知市大津ミョウガ部会と土佐山ハウス茗荷生産組合の合同現地検討会及び研修会が開催され、生産者11名が参加しました。

普及所からは、今年度の定植期以降の天候に触れた後、かん水管理や温度管理について指導しました。

参加者は、視察ほ場の栽培方法や使用している資材について、熱心に園主に質問をしたり、高温対策について生産者同士で意見が交わされるなど、栽培技術向上への意識の高さがうかがえました。

普及所は今後もJ Aと連携し、産地の生産力向上に向けて取り組んでいきます。